

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域づくりインターンシップ戦略事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (委託：松本大学)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	31,773,600円 (うち支援金：604,000円)

### 事業内容

松本市と松本大学とで協働して、若者が地域づくり活動に参加することで地域活動が活性化することと、若者が地域での活動を通して成長することを支援していく事業として実施しました。

- 1 若者は地域づくりに係る活動に従事し、自らの能力の向上を図ります。
- 2 大学は、地域づくりに係る様々な分野と人材育成につながる専門教育を行ないました。
- 3 中央、鎌田、入山辺、四賀、奈川、新村、芳川、庄内、寿、中山、本郷の11地区の地域づくりセンターを拠点に11人が活動しました。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 若者が地域づくりの活動に参加することで、地域の皆さんの活動が活発になりました。  
例えば、地域の皆さんとインターン生とで一緒に企画し、交流事業や居場所づくりの事業に取り組んでいます。
- 2 若者は、大学での専門教育や地域づくり活動で多くの地域の皆さんと関わることで、大きく成長していると実感しています。
- 3 インターン生のネットワークを活用した、地区間連携も実践され、地区間の住民交流も行われています。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1 平成30年度以降インターン生を拡充し、継続して取り組んでいく。(5期生まで拡充)
- 2 インターン生の3年の任期後に、それぞれが希望する就職や起業に向けた営みができるように支援策を他部署と連携を取りながら進めていく。
- 3 地域の若者を地域づくり活動に引き込めるように引き続き周知をしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【週1回の大学での講座】

### 【目標・ねらい】

- ① インターン生の若者が地域で活動することによる地域づくりの活性化
- ② 大学と連携して若者を地域で育てる。
- ③ 若者の発想を生かした地域づくり

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

インターン生による活動は、予定を上回る成果を挙げられた。

地域の若者にインターンの活動の周知し、若者の地域参加を促していきたい。